



キャンパス・コンソーシアム函館
合同公開講座

函館学 2026

第2回講義 講義資料

「誰もが自分らしくいられる函館へ」
ージェンダーを身近な言葉から考えるー

講師：川村 幾代

函館短期大学 専任講師

日時：令和8年8月29日（土）

13：30～15：00

会場：函館短期大学

主催：キャンパス・コンソーシアム函館



キャンパス・コンソーシアム函館 合同公開講座

川村 幾代（かわむら いくよ）
函館短期大学 保育学科 専任講師

講師略歴

障害児支援に携わった後、函館市子育て支援課において母子父子自立支援員・女性相談員として、DVや生活上の困難を抱える女性と家庭への相談支援に従事した。

これまで、函館市主催の中学生向け「デートDV防止出前授業」、子どもへの暴力防止プログラム（CAP）、函館市女性つながりサポート事業などに携わる。

現在は、子どもの保健、子ども家庭支援論、社会的養護などを担当し、子ども・女性・家族への支援について教育を行なっている。

「誰もが自分らしくいられる函館へ」 ージェンダーを身近な言葉から考えるー

【講演概要】

本公演では、若い世代、特に女性の転出が続く函館の現状を、人口移動や賃金、市民意識調査などのデータから紹介し、その背景にある固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスについて考えます。

「男らしさ」「女らしさ」といった身近な言葉や、家庭・学校・職場での具体例を取り上げ、ジェンダーが一部の人だけの問題ではなく、誰もが自分らしい生き方を選択することに関わる問題であることを、市民の皆様と一緒に考えます。

また、家庭における家事・育児の分担、職場における女性の働きにくさや昇進、男性の育児休業などを取り上げます。さらに、アイスランドや兵庫県豊岡市などの事例を紹介し、地域や職場がどのように変わることができるのかを考えます。

後半では、函館市が進めているジェンダーギャップ解消プロジェクトや、企業・若者・働く女性との意見交換など、函館における現在の取り組みを紹介します。

【当日の構成（予定）】

1. 講演

- 函館における若い世代の人口流出
- ジェンダーとは何か
- 身近にあるアンコンシャス・バイアス
- 家庭や職場における男女の役割
- 世界および国内他都市の取り組み
- 函館の取り組みとこれから

2. ゲストトーク

3. まとめと動画